

2007年7月5日

No.73

# 又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 谷岸 孝士

富山市下新町 4-27

TEL 076-441-0800

HP: www.s-mataichi.com

## 久間氏・松岡氏・柳澤氏をかばい続けた安倍首相 年金・憲法 怒りの行動を又市必勝へ

通常国会は政府与党による一方的な12日間の延長後、6月29日（金）、年金改悪2法や、高級官僚の天下りを制度化する公務員法改悪の強行的採決で、参議院にさらに汚点を重ね、事実上の閉会となった（5日が最終日）。

又市幹事長は「こうした悪法の数々を、ろくな審議もせず無理やり成立させてゆく国会・国政を抜本的に改めねばなりません。まず参議院で与野党逆転を。中でも憲法擁護・くらしを守る社民党の確固たる議席数を獲得することが不可欠です。」と訴えている。

6月29日の参院本会議は、記名投票（木札を持参し登壇して投票する、いわゆる堂々巡り）を6回行ない、野党はそれぞれ提案や賛否を述べて主張を展開した。野党が提出したのは、①柳沢厚生大臣問責決議案、②安倍総理問責決議案、③強行採決した厚生労働委員長の解任決議案。日付を越えて翌30日未明、④年金改悪等3法案を厚生労働委員会に差し戻す決議案、⑤国家公務員法案につき内閣委員長の中間報告を求める動議を議題とすることの動議、⑥同 中間報告を求める動議の、合計6本。

委員会審議を打ち切った「中間報告～本会議採決」に抗議して野党（共産を除く）は午前3時に退場。国家公務員法は、与党＋共産のみで議決された。今国会では、国民投票法、教育3法、この日の2件など強行採決のオンパレードだった。

## 久間氏辞任と安倍首相の責任

長崎の出身でありながら「原爆は戦争を終らせるため、しょうがなかった」という暴言を吐いた久間防衛相。又市幹事長が3日午後、民主・国民両党とともに罷免要求を突きつける5分前に辞任した。又市幹事長は「首相自身の認識と任命責任が問題だ。直ちに予算委・外防委の審議を求めます。安倍首相は久間氏だけでなく、政治資金・談合疑惑の故松岡大臣や、《子を産む機械》発言の柳澤大臣を《政府に貢献している》とかばい続けた。自身は憲法改悪を宣言した。彼の内閣が続く限り、国民は問題大臣に政治をゆだねる状態が続く。」と語った。



▲7月3日に開かれた3野党幹事長会談

## 「政治とカネ」の問題

又市幹事長は6月28日（木）、政治倫理・選挙制度特別委で「政治資金規正法改正案」で質問。自民・公明案の「資金管理団体に限り5万円以上の経常経費に領収証添付」はザル法だとして反対し、民主党案の「すべての政治団体に1万円以上」案は一步前進だと支持した。又市幹事長は「自民党が資金管理団体を減らし、抜け穴の政党支部を増やして資金を移している」実態を暴いた。「規正法疑惑の松岡・伊吹・佐田（前）各大臣の政治資金収支を倫理綱領にもとづき公開せよ」と迫った。